

第1号議案 平成28年度決算報告

I 正味財産増減計算書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：円)

科目	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	3,630,078	5,691,337	△ 2,061,259
受取入会金	7,240,000	7,060,000	180,000
受取会費	3,129,000	3,798,000	△ 669,000
受取寄付金	203,680	59,862	143,818
受取広告料	545,000	665,000	△ 120,000
受取利息	4,064	46,129	△ 42,065
雑収入	20,922	32,142	△ 11,220
経常収益計	14,772,744	17,352,470	△ 2,579,726
(2) 経常費用			
① 事業費	11,407,539	12,436,473	△ 1,028,934
給料手当	3,403,238	3,265,770	137,468
福利厚生費	469,351	473,776	△ 4,425
教育援助費	1,671,652	1,878,670	△ 207,018
情報交流費	1,109,330	949,442	159,888
減価償却費	520,523	520,524	△ 1
通信運搬費	1,469,208	1,486,914	△ 17,706
消耗品費	39,297	30,397	8,900
「鳳陽」刊行費	1,763,812	1,692,646	71,166
同窓会事業費	793,922	1,984,942	△ 1,191,020
光熱水料費	167,206	153,392	13,814
② 管理費	4,850,034	4,599,656	250,378
給料手当	1,539,370	1,402,230	137,140
福利厚生費	201,152	203,045	△ 1,893
会議費	160,397	147,200	13,197
旅費交通費	624,824	587,100	37,724
通信運搬費	360,515	435,259	△ 74,744
減価償却費	223,081	223,080	1
消耗品費	41,549	63,147	△ 21,598
消耗品什器備品費	74,454	74,454	0
修繕費	0	8,640	△ 8,640
光熱水料費	71,660	65,739	5,921
賃借料	680,763	728,847	△ 48,084
租税公課	272,600	283,800	△ 11,200
雑費	599,669	377,115	222,554
経常費用計	16,257,573	17,036,129	△ 778,556
当期経常増減額	△ 1,484,829	316,341	△ 1,801,170
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金戻入	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,484,829	316,341	△ 1,801,170
一般正味財産期首残高	63,353,379	63,037,038	316,341
一般正味財産期末残高	61,868,550	63,353,379	△ 1,484,829
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減高	0	0	0
指定正味財産期首残高	120,300,000	120,300,000	0
指定正味財産期末残高	120,300,000	120,300,000	0
III 正味財産期末残高	182,168,550	183,653,379	△ 1,484,829

注) 上記正味財産増減計算書は、平成20年会計基準で作成

Ⅱ 貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	17,082,120	18,093,786	△ 1,011,666
流動資産合計	17,082,120	18,093,786	△ 1,011,666
2 固定資産			
(1) 特定資産			
前受入金引当資産	31,120,000	31,580,000	△ 460,000
記念基金引当資産	117,500,000	117,500,000	0
建設基金引当資産	1,800,000	1,800,000	0
教育研究積立金引当資産	2,000,000	2,000,000	0
減価償却引当資産	36,451,902	35,708,298	743,604
特定資産合計	188,871,902	188,588,298	283,604
(2) その他の固定資産			
建物	9,220,514	9,889,445	△ 668,931
建物付属設備	124,700	163,200	△ 38,500
構築物	251,329	267,961	△ 16,632
什器備品	561,643	581,184	△ 19,541
出資金	30,000	30,000	0
投資有価証券	3,337,598	4,064,252	△ 726,654
その他の固定資産合計	13,525,784	14,996,042	△ 1,470,258
固定資産合計	202,397,686	203,584,340	△ 1,186,654
資産合計	219,479,806	221,678,126	△ 2,198,320
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	9,720	7,080	2,640
未払金	81,536	77,667	3,869
前受金	6,100,000	6,360,000	△ 260,000
流動負債合計	6,191,256	6,444,747	△ 253,491
2 固定負債			
前受入金	31,120,000	31,580,000	△ 460,000
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	31,120,000	31,580,000	△ 460,000
負債合計	37,311,256	38,024,747	△ 713,491
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	120,300,000	120,300,000	0
(うち特定資産への充当額)	120,300,000	120,300,000	0
2 一般正味財産	61,868,555	63,353,379	△ 1,484,824
(うち特定資産への充当額)	37,451,902	36,708,298	743,604
正味財産合計	182,168,555	183,653,379	△ 1,484,829
負債及び正味財産合計	219,479,806	221,678,126	△ 2,198,320

註) 上記貸借対照表は、平成20年会計基準で作成

Ⅲ 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券：償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
法人税法に規定する旧定額法及び定額法によっている。
- (3) リース取引の処理方法
通常の賃貸借取引に係る方法によっている。

2 会計方針の変更

財務諸表の様式等、新公益法人会計基準（平成 20 年基準）に準拠している。

3 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
前受入会金引当資産	31,580,000	6,780,000	7,240,000	31,120,000
記念基金引当資産	117,500,000	0	0	117,500,000
建設基金引当資産	1,800,000	0	0	1,800,000
教育研究積立金引当資産	2,000,000	0	0	2,000,000
減価償却引当資産	35,708,298	743,604	0	36,451,902
合 計	188,588,298	7,523,604	7,240,000	188,871,902

4 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
前受入会金引当資産	31,120,000	0	0	31,120,000
記念基金引当資産	117,500,000	117,500,000	0	0
建設基金引当資産	1,800,000	1,800,000	0	0
教育研究積立金引当資産	2,000,000	1,000,000	1,000,000	0
減価償却引当資産	36,451,902	0	36,451,902	0
合 計	188,871,902	120,300,000	37,451,902	31,120,000

5 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

項 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	37,162,833	27,942,319	9,220,514
建物付属設備	500,000	375,300	124,700
構 築 物	1,868,000	1,616,671	251,329
什 器 備 品	7,079,255	6,517,612	561,643
合 計	46,610,088	36,451,902	10,158,186

7 保証債務等の偶発債務

保証債務等の偶発債務はない。

8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
パワー・リバース・デュアル債	50,000,000	*****	*****
コミュニケーションインベスト I	24,652,550	*****	*****
MS 豪ドルトリガー	50,000,000	*****	*****
BNPパリバ債	50,000,000	*****	*****
大阪府公募公債	10,000,000	10,168,000	168,000
合 計	184,652,550	*****	*****

9 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はない。

10 重要な後発事象

重要な後発事象はない。

IV 監査報告書

私たち監事は、平成29年4月 日 に鳳陽会事務局において、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度における一般社団法人鳳陽会の業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施状況について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）の第99条、124条及び一般社団法人鳳陽会の定款第23条に基づき監査を行いました。

その方法及び結果について、下記のとおり報告します。

1 監査の方法及び内容

- (1) 各監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、事務局において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。
- (2) 各監事は、事業報告書並びに金銭出納帳、総勘定元帳、預金通帳、各種証憑書類の調査を行い、貸借対照表、正味財産増減計算書等の計算書類及びこれらの付属明細書及び財産目録の監査を実施しました。
- (3) 各監事は、公益目的支出計画実施報告について、事業報告、財務諸表及び関係書類を閲覧し、計画の実施状況の監査を実施しました。

2 監査結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 計算書類は、会計帳簿又はこれに関する資料の記載金額と一致し、当法人の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、事業報告、計算書類の記載内容と一致し、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示していると認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

平成29年 4月 日

監事

Ⓜ

監事

Ⓜ

I 平成28年度 事業報告

1 教育支援事業（母校、地域、在学生への支援）

- (1) 第7回寄附講座（経済学部特殊講義Ⅰ）の開設（平成28年4月11日～7月25日の毎週金曜日に実施、講師14名、聴講生毎回約30名）
- (2) 経済学部との連携による、学生に対する就職活動支援の推進
 - ① 就職アドバイザー4人による学生の就職相談への対応
毎週、月・火・木・金曜日の14:30～16:30 実施（経済学部就職相談室）
 - ② 模擬面接の実施（10月19日～12月14日の毎週水曜日、参加企業：7社）
企業等の人事担当者及び就職アドバイザーが面接官になり、学生を対象とした集団模擬面接を実施
- (3) 経済学部職業会計人コースに対する支援及び助成
 - ① 全国大学対抗簿記大会への助成
 - ② 経済学部職業会計人コース奨学金造成に対する助成
- (4) グローバル人材育成に対する助成
 - ① 英会話テキスト購入に対する助成
 - ② 英会話集中講義に対する助成（8月8・9日（A日程）、8月10・11日（B日程））
経済学部及び他学部の学生等を対象に、外部（プール学院大学）の外人講師を招聘して実施
- (5) 公益財団法人山口大学後援財団に対する支援
日中学術交流活動に対する寄附
- (6) 経済学部の学科別成績優秀者及びTOEIC成績優秀者の表彰及び副賞助成

2 交流事業

- (1) 山口大学同窓会（各学部同窓会の連合同窓会）を支援し、他学部同窓会との交流を促進
山口大学ホームカミングデーへの積極的参加等
- (2) 卒業時、卒業生（新会員）へ「鳳陽会」の紹介冊子「花なき山の・・・」及び記念品（シャープペンシル）を配付
- (3) 会員と学生との積極的交流
 - ① 学生ゼミ連主催の「卒業祝賀会」への会員の積極的出席
 - ② 山口支部総会への留学生「10名」の招待等
- (4) 新入生及びその保護者を対象とした「保護者懇談会」において「鳳陽会」を紹介し、同窓会活動に対する理解を求めた。
- (5) 中央寮歌祭（東京支部）、岡山寮歌祭（岡山支部）への参加に対する支援

3 同窓会関係事業

- (1) 第86回通常総会（全国総会）を開催し、会員相互の交流を促進
 - ・ 日 時 平成28年6月18日（土） 16:00～19:00
 - ・ 場 所 北九州市小倉北区浅野 1-1-1 ステーションホテル小倉
 - ・ 出席者 約220名（経済学部の招待学生：21名）
- (2) 各支部総会への積極的参加
名古屋支部、京滋支部等10支部に出席
- (3) 会員の動静管理や鳳陽会関係資料の充実
各支部との連携の下、会員の動静把握・整理や各支部・会員へのデータ提供を行うとともに、鳳陽会関係資料の充実に努めた。

4 会報発行事業

- (1) 機関誌「鳳陽」の編集、発行及び送付・配付（年3回）
 - ・ 第157号（5月発行）
従来どおり、海外会員を含む全会員（住所判明者：約13,000名）へ送付
 - ・ 第158号（9月発行）、第159号（1月発行）
当会の財政状況を踏まえ、正会員（年会費納入会員及び賛助会費納入会員：約3,100名）のみ送付
 - ・ 経済学部の教官（現・旧）、大学院経済研究科の在学生、経済学部生及び新入生保護者等に配付
 - ・ 山口大学本部（総務部）、他学部同窓会及び他大学同窓会等へ送付

5 本年度の重点施策

- (1) 「鳳陽会」活動の活性化の推進
「鳳陽会」活動の活性化への取組を新たに展開するため、支部の実態把握等を行うアンケートの実施
- (2) 財政基盤の健全化の推進
 - ① 年会費納入の積極的な働きかけ
 - ② 機関誌「鳳陽」への広告掲載の依頼
 - ③ 経費の徹底削減
- (3) 経済学部との一層の連携強化
 - ① 各支部と連携した学生の就職活動に対する積極的な支援
 - ② 日本学生経済ゼミナール山口大学大会等経済学部関連行事や経済学部内委員会への積極的参画
- (4) その他
鳳陽会を安定的・継続的に運営するための資金運用規則を制定